

里庄町立 図書館ニュース



里庄西小学校

3年 生口 大樹

里庄西小学校

3年 黒田 このは



第333号
令和3年2月

お知らせ

館内利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして、ほぼ通常どおり開館しています。

来館者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止の趣旨をご理解いただき、次の点にご協力ください。

- ・マスクを着用する。
- ・せきや発熱等の風邪症状のある方は、利用を控える。
- ・入館時、自動体温測定器で体温測定をする。
- ・長時間の滞在は、控える。
- ・入館・退館の際には、手を消毒する。

「ふくちゃん 読書手帳」の利用を



読んだ本を記録するための読書手帳です。読書手帳をつければ、「この本読んだっけ？」「読んだ本だった！」「読んだ本が思い出せない！」などの悩みがなくなり便利です。読書手帳は、図書館カウンターにあります。

なお、10冊ごとにスタンプを1つ押します。50冊、100冊読んだ人には、図書館オリジナルグッズをさしあげます。

「こどものへや」改装

「こどものへや」を改装し、幼児への読み聞かせに適した部屋にしました。そして、名前も「おはなしのへや」に変更しました。併せて、授乳コーナーも整備し、授乳やおむつ替えもしやすくなりました。ぜひ、ご利用ください。

インターネットで里庄町立図書館のホームページを開いてみよう。

里庄町立図書館のホームページに蔵書検索機能があるのはご存じですか？自宅にいながら、本やCDが検索でき、さらに現在貸出中かどうか分かります。その中でも特にお勧めするのが、朗読CDです。プロによる文学作品の朗読は一味違います。効果音もあり、臨場感があります。すでに活字で読んだ方も、初めての方も、目の不自由な方も、読むのが苦手な方も、ぜひ一度、耳で聞く読書を楽しんでみてください。

「佐藤清明」特設サイトを開設

佐藤清明（1905～1998）は、日本で初めての妖怪事典を出版した里庄出身の博物学者です。また、佐藤清明の業績を研究するための団体「清明研究会」の活動の様子などをのせています。忘れられた知の巨人「佐藤清明」に興味のある方、ぜひご覧ください。

お願い

図書館の本は町民みんなの財産です。

大切に扱ってください。

無断で持ち出さないでください。

返却期限を守ってください。

万一、壊れたり、破れたりしたときは、自分で直さないで、返却時に職員にお知らせください。

図書館利用バリアフリー運動

里庄町立図書館では、すべての人に気持ちよく、安心して利用していただくために、施設や設備にさまざまな心配りがなされています。玄関のスロープ、エレベーター、車椅子用のトイレ、駐車スペース、幼児用のトイレ、ベビーベッド、低い書架等です。この他に、車椅子や、老眼鏡も用意しています。気軽に図書館員に申しつけてください。

バリアフリーの精神を生かすためには、まわりの人の心づかいが大切になります。玄関前のレンガ敷きの所や、スロープの近くに自転車やバイクを置かないようにしてください。自動車は決められた枠の中に駐車してください。

よろしく願いいたします。

行事予定・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎ 2月 特設展示（大河ドラマ展・巣ごもり期間におすすめの本）

1日（月） 幼稚園児作品展 ～10日（水） 10：00～18：00
ただし、日曜日は、9：00～17：00

2日（火） 休館日

3日（水） 押し花「ふしぎな花クラブ」 12：00～16：00

4日（木） 英会話講座 昼の部 13：00～14：10

5日（金） エルマーの工房 13：30～

6日（土）

7日（日） 組み木の広場「木楽工房」 10：00～16：00

8日（月）

9日（火） 休館日

10日（水）

- 11日(木) **建国記念の日**
12日(金) エルマーの工房 13:30~
13日(土) おはなしトトロ 14:00~
14日(日) **合同作品展 ~24日(水) 10:00~18:00**
ただし、日曜日は、9:00~17:00

- 15日(月)
16日(火) **休館日**
17日(水)
18日(木) 英会話講座 昼の部 13:00~14:10
19日(金) エルマーの工房 13:30~
20日(土)
21日(日) **休館日**
22日(月)
23日(火) **休館日**
24日(水)
25日(木) 英会話講座 昼の部 13:00~14:10
26日(金) エルマーの工房 13:30~
27日(土) おはなしトトロ 14:00~
28日(日) **月末整理休館日**

◎3月 特設展示(芥川賞・直木賞展)

- 1日(月)
2日(火) **休館日**
3日(水) 押し花「ふしぎな花クラブ」 12:00~16:00
4日(木) 英会話講座 昼の部 13:00~14:10
5日(金) エルマーの工房 13:30~
6日(土) **おたのしみ会「ぐりとぐらの世界を楽しもう！」**
14:00~15:00
7日(日) **蔵書点検休館日**
8日(月) **蔵書点検休館日**
9日(火) **休館日**
10日(水) **蔵書点検休館日**
11日(木) **蔵書点検休館日**
12日(金) **蔵書点検休館日**
13日(土) **蔵書点検休館日**
14日(日) ちぎり絵教室「紙遊会」 9:00~16:00
組み木の広場「木楽工房」 10:00~16:00
15日(月)
16日(火) **休館日**
17日(水)
18日(木) 英会話講座 昼の部 13:00~14:10
19日(金) **水墨画展 ~28日(日) 10:00~18:00**
ただし、19日(金)は、13:00~18:00
28日(日)は、10:00~16:00
エルマーの工房 13:30~
20日(土)
21日(日) **休館日**
22日(月)
23日(火) **休館日**

24日(水)
25日(木) 英会話講座 昼の部 13:00~14:10
26日(金) エルマーの工房 13:30~
27日(土) おはなしトトロ 14:00~
28日(日)
29日(月) **月末整理休館日**
30日(火) **休館日**
31日(水) **年度末整理休館日**

展示・催し案内・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎特設コーナー 2月

場所 カウンター前の特設架
内容 大河ドラマ展・巣ごもり期間におすすめの本

◎幼稚園児作品展

期日 2月1日(月)~10日(水) 10:00~18:00
場所 2階展示室(北) **ただし、日曜日は9:00~17:00**
内容 東・西幼稚園児の作品を展示します。

◎合同作品展

期日 2月14日(日)~24日(水) 10:00~18:00
場所 2階展示室(南) **ただし、日曜日は9:00~17:00**
内容 里庄図書館で活動している、組み木の広場「木楽工房」・ちぎり絵教室「紙遊会」・押し花「ふしぎな花クラブ」の作品を展示します。

◎特設コーナー 3月

場所 カウンター前の特設架
内容 芥川賞・直木賞展

◎おたのしみ会「ぐりとぐらの世界を楽しもう！」

期日 3月6日(土) 14:00~15:00
対象・定員 幼児~一般・20名(申込み多数の場合は、抽選)
申込期間 2月1日(月)~2月27日(土)
場所 2階視聴覚室
参加費 無料
内容 「ぐりとぐら」シリーズの読み聞かせ
マスコットプレゼントがあります。

◎水墨画展

期日 3月19日(金)~28日(日) 10:00~18:00
ただし、19日(金)は、13:00~18:00
場所 2階展示室(南) **28日(日)は、10:00~16:00**
内容 水墨画同好会の作品を展示します。

図書館ボランティア

(どなたでも参加できます。お手伝い下さい。)

◎おはなしボランティア「おはなしトトロ」

・日時 第2・4 土曜日 14:00~
・内容 読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアター・

ストーリーテリング・手遊びなどの練習、おはなし会やおはなし宅配便への参加・実演。

◎手づくりボランティア「エルマーの工房」

- ・日時 毎週 金曜日（祝日を除く）13：30～
- ・内容 おはなしのキャラクターやパネルシアター・エプロンシアターの作製。

趣味の会・学習会 新入会員募集中

◎組木の広場「木楽工房」

- ・日時 毎月第2日曜日 10：00～16：00
- ・内容 組木作製 *材料費実費負担

◎ちぎり絵教室「紙遊会」

- ・日時 毎月第2日曜日 9：00～16：00
- ・内容 ちぎり絵作製 *材料費実費負担

◎押し花「ふしぎな花クラブ」

- ・日時 毎月第1水曜日 12：00～16：00
- ・内容 おしばな作品作製 *材料費実費負担

◎里庄歴史勉強会

- ・日時 毎月第4日曜日 13：30～15：30
- ・内容 近隣市町村の歴史研究 *資料制作費負担

◎清明研究会

- 日時 毎月1回 13：00～ 2時間程度
- 会場 里庄図書館 2階視聴覚室 その他
- 内容 佐藤清明についての研究、資料の整理など

新着本の案内

12月中旬から1月上旬に購入した図書の一部です。

大人の本

◎ 詩歌

▽あの人と短歌（穂村 弘：NHK 出版）

「あの人」は短歌をどう読み解き、ことばとどのように対峙しているのか。北村薫、知花くらら、小澤實、里中満智子ら、16人の短歌好きとの対談をまとめる。

◎ 日本の小説

▽今度生まれたら（内館 牧子：講談社）

夫の寝顔を見ながら「今度生まれたら、この人とは結婚しない」とつぶやいた70歳の夏江。何の不満もない老後だが、人生の選択はこれでよかったのかと自らに問い…。「終わった人」「すぐ死ぬんだから」に続く「老後」小説。

▽教室に並んだ背表紙（相沢 沙呼：集英社）

わたしは欠陥品なのかもしれない。中学校の“図書室”を舞台に、ままならない思春期の友人関係や未来への漠然とした不安、揺れる心模様を繊細に描く、全6編の連作短編集。

▽雪のなまえ（村山 由佳：徳間書店）

不登校の小学5年生・雪乃は、会社を辞めてIターンした父と長野で暮らし始める。胸に抱える苦しい思いを吐き出すことができない雪乃。そんな雪乃の心を溶かしてくれたのは…。

▽二人がいた食卓（遠藤 彩見：講談社）

毎日食卓を囲み、互いの気持ちや体調を察するのが夫婦のあるべき姿と考える妻の泉。一方、夫の旺介は、泉が整える夫婦の「形」に馴染めずにいる。それぞれの方

法で歩み寄ろうとするふたりだが…。「食」ですれ違う夫婦の物語。

▽じい散歩 (藤野 千夜：双葉社)

明石家は夫婦あわせてもうすぐ 180 歳。3 人の息子は全員独身で…。家族の可笑しみ、さりげない優しさを描き出した、現代家族小説。

▽彩(いろ)無き世界のノスタルジア (行成 薫：集英社)

両親を殺され逃げてきた少女・彩葉と、裏社会で生きる「交渉屋」の男キダ。ひよんなことからふたりの共同生活がはじまり、それは孤独な男の運命を変えていき…。「名も無き世界のエンドロール」続編。

▽処方箋のないクリニック (仙川 環：小学館)

緑内障、高血圧、関節症、肥満、アトピー。患者と家族の一大事は、ごくありふれた病気から始まった。規格外の名医・青島倫太郎が、病気でこじれた人間関係にメスを入れる！

▽神様には負けられない (山本 幸久：新潮社)

25 歳で会社をやめ、ゼロから義肢装具士を目指すさえ子。実習に、恋に、悪戦苦闘する中、「ほんとのバリアフリー」と未来の自分が少しずつ見え始め…。再スタートを応援するお仕事小説。

▽彼女のスマホが繋がらない (志駕 晃：小学館)

激動の令和 2 年と、お嬢様女子大生が“パパ活”に翻弄される平成 30 年を行き来しながら展開するミステリー。

▽見えない星に耳を澄ませて (香月 夕花：KADOKAWA)

大人の声に耳を閉ざす少女、生きる気力を失った中年男性…。音楽療法士を志す真尋は、傷ついた彼らの心の「音」に耳を澄ます。次第に自身が抱えた秘密も明らかになり…。

▽さようならアルルカン/白い少女たち (氷室 冴子：集英社)

ひりつくような焦燥感、純愛、「少女」という檻の閉塞感。多感で未熟な姿を鮮やかに描いた、伝説の少女作家・氷室冴子の初期作品集。表題の 2 作に加え、「あなたへの挽歌」「おしゃべり」など全 6 作を収録。

▽移動図書館の子供たち (我妻 俊樹ほか：柏書房)

現代最高の文章家による書き下ろし「短文」アンソロジーシリーズ第 2 弾。古谷田 奈月「羽音」、我妻俊樹「ダダダ」、勝山海百合「チョコレート・ベルガ」、円城塔「固体状態」など、全 17 編を収録。

▽バイター (五十嵐 貴久：光文社)

大川豆島で突如蔓延した感染症。罹患者は人の血肉を求める凶暴な「バイター」と化す。恐慌の中、精鋭部隊「ブラッド・セブン」は、島を訪れていた総理大臣の娘の救出のため絶望の島へ向かうが…。

▽さのよいよい (戌井 昭人：新潮社)

32 年前の放火殺人を探るうち、神がかった先生のご託宣や家族の秘密が炙り出され、おのれの不甲斐なさも思い知らされることになり…。本当の事件から生まれた「炎上」小説。

▽クラゲ・アイランドの夜明け (渡辺 優：中央公論新社)

殺人、傷害、交通事故、違法労働、自殺者などがゼロの海上コロニー、通称<楽園>。そこではじめて「自殺」した少女・ミサキの死に疑問を抱いた僕は、生前の彼女の行動を探りはじめる。そこに、新種の人喰いクラゲの存在が…。

▽当確師 十二歳の革命 (真山 仁：中央公論新社)

日本最強の選挙コンサルタント・聖に、総理大臣を選挙区で落とすという新たな依頼が。地元で「里山を壊さないで」と総理に問いつめた少年こそ刺客の適任者だが、少年には被選挙権がなく…。

▽コロナと潜水服 (奥田 英朗：光文社)

5 歳の息子には、新型コロナウイルスが感知できる？ パパがとった究極の対応策とは…。表題作をはじめ、愛と奇想の全 5 作を収録。

▽比例区は「悪魔」と書くのだ、人間ども（藤崎 翔：光文社）

奇抜なメイクと高飛車な発言で耳目を集めるサタン橋爪率いる「悪魔党」。見事4人が比例区当選を果たし、やがて世界中に「悪魔運動」が起こり…。“読むコント”全12編を収録。

▽おとぎカンパニー 妖怪編（田丸 雅智：光文社）

突然やって来たセールスマン。ぬりかべ派遣サービスって一体…？河童や座敷童子、かまいたちなど、おなじみの妖怪たちが現代社会を舞台に大活躍！ブラック&ユーモアがたっぷり詰まった全12編を収録。

◎ 歴史・時代小説

▽北条五代 上（火坂 雅志，伊東 潤：朝日新聞出版）

早雲、氏綱、氏康、氏政、氏直。100年にわたる興亡を描く。火坂雅志急逝による未完の大作を伊東潤が引き継いで完結。上は、火坂雅志による第1部と伊東潤による第2部第1章を収録する。

▽北条五代 下（火坂 雅志，伊東 潤：朝日新聞出版）

信長、謙信、信玄、家康、秀吉。戦国群雄との存亡をかけた戦い！火坂雅志急逝による未完の大作を伊東潤が引き継いで完結。下は、伊東潤による第2部第2～5章、巻末エッセイを収録する。

▽夢幻（上田 秀人：中央公論新社）

徳川家康の嫡子・信康、織田信長の嫡子・信忠。偉大な父を持つ後継者と天下人との相克を横糸に、本能寺の変までの両家の連携と因縁を縦糸に紡ぐ戦国ドラマ。

▽しのぶ恋（諸田 玲子：文藝春秋）

安藤広重「目黒太鼓橋夕日の岡」、葛飾北斎「百物語さらやしき」など、浮世絵の名作に材を取った短篇7本を収録。男と女、出会いと別れ。喜怒哀楽の表情を濃密に描く。

▽我、過てり（仁木 英之：角川春樹事務所）

信玄に三連勝した村上義清、東北最大勢力になった伊達政宗…。強大な敵を前に、一度は勝利を掴んだはずの彼らは、いったいどこで選択を誤ったのか。そしてそこからの決死の挽回術とは。教訓が満載の書き下ろし歴史小説。

▽足利の血脈（秋山 香乃，荒山 徹，川越 宗一，木下 昌輝，鈴木 英治，早見 俊，谷津 矢車：PHP 研究所）

堀越公方滅亡、河越夜合戦、織田信長謀殺…。戦国を語る上で欠かせない「足利氏」をテーマに、戦国の裏側に斬り込んだ連作短篇集。早見俊「嘉吉の狐」、荒山徹「宿縁」、谷津矢車「凧の世」など全7話を収録。

▽阿修羅草紙（武内 涼：新潮社）

大乱前夜の京。奪われた秘宝を追う少女忍者すがすがすが、権力者たちの非道を討つ！野望の陰で命を散らす忍者たちの悲哀を描く、歴史エンターテインメント。

▽いとまの雪 上（伊集院 静：KADOKAWA）

大坂夏の陣から70年。家老・大石良雄は、赤穂藩主・浅野内匠頭の清らかな心に惹かれながらも、危うさを感じ取り…。日本史上最も有名な復讐劇を独自の視点で描く。

▽いとまの雪 上（伊集院 静：KADOKAWA）

江戸城・松の廊下で刀傷沙汰を起し、即日切腹の裁定が下された赤穂藩主・浅野内匠頭。復讐の時を待つ家老・大石良雄。その黒幕は…。日本史上最も有名な復讐劇を独自の視点で描く。

▽とんちき耕書堂青春譜（矢野 隆：新潮社）

身も心も、自分になりたいものになるために、捧げる日々。しかし、ある「死」が、夢追人に暗雲を…。江戸最強の出版人、葛屋重三郎の店で才能の開花を待つ、一九、馬琴、写楽、北斎を描く。

▽天を測る（今野 敏：講談社）

世の理は、全て単純な数式で表せる。咸臨丸の太平洋横断、江戸湾海防計画、軍艦

建造。論理力で欧米列強を圧倒し、近代日本の船出を陰で支えた英雄、小野友五郎の物語。

◎ 推理・ミステリー

▽ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 (東野 圭吾：光文社)

ほとんどの人が訪れたことのない平凡で小さな町。寂れた観光地。ようやく射した希望の光をコロナが奪い、さらに殺人事件が発生。颯爽とあらわれた黒い魔術師が知恵と仕掛けを駆使して、犯人と警察に挑む。

▽あずかりやさん 4 (大山 淳子：ポプラ社)

1日 100 円で何でも預かる「あずかりや」。「半年後に引き取りにこなかったらポストに投函して」と店主に託された手紙の行方とは。高倉健、緒形拳、石原裕次郎の三人が預けた「ある物」とは…。全5話を収録。

▽偶然にして最悪の邂逅 (西澤 保彦：東京創元社)

怒濤の展開で過去と現在が入り混じる「日常の中の非日常」を、絶妙な筆致で描いた本格ミステリー短編集。「ひとり相撲」「間女の隠れ処」など、全5編を収録。

▽騙る (黒川 博行：文藝春秋)

価値を知らない素人に、親切を装って作品を売りさばく段取りをつけるが…。「マーケット」をはじめ、「上代裂」「乾隆御墨」など、古美術業界のもうけ話にたかる人々を描いた、ミステリー連作集。

▽雪に撃つ (佐々木 譲：角川春樹事務所)

さっぽろ雪まつり開幕前日に起こった、自動車窃盗事件、少女の家出、そして発砲事件。無関係に見える事件が、一年で一番賑わう札幌でひとつに収束していき…。

▽ミッドナイト (柴田 哲孝：双葉社)

警察庁公安<サクラ>の田臥警視は、ロシアのスパイ親子を青森から警察庁に陸路で連れていくことに。戦闘機 F35 の重大な秘密を握る親子に、次々と敵が迫り…。連作シリーズ第4弾。

▽観月 (麻生 幾：文藝春秋)

大分県杵築市では幻想的な光に包まれる「観月祭」の開催を前に、街は活気に満ちていた。しかし祭りの1週間前、地元の名産品七島藺作家の七海が突如襲われる事件が…。

▽境界線 (中山 七里：NHK 出版)

突然の妻の訃報を受けた宮城県警捜査一課警部・笹篠は現場へ急行するが、そこで目にしたのは別人の遺体で…。「護られなかった者たちへ」に連なる「宮城県警シリーズ」の続編。

▽月下美人を待つ庭で (倉知 淳：東京創元社)

理屈の通らない出来事も、猫丸先輩にかかれば…。悪気なさそうな侵入者たちをめぐる推理が温かな読後感を残す表題作ほか、日常に潜む不可思議な謎を解き明かす、全5編を収めた連作短編集。

▽野良犬の値段 (百田 尚樹：幻冬舎)

突如としてネット上に現れた、謎の誘拐サイト。「私たちが誘拐したのは以下の人物です」という文言とともに6人の男たちの名前と顔写真が公開された。果たしてこれは事件なのか…。かつてない劇場型犯罪が幕を開ける。

◎ ホラー・怪談

▽火喰鳥を、喰う (原 浩：KADOKAWA)

信州で暮らす久喜雄司に届けられた「死者の日記」。そこには太平洋戦争末期に戦死した大伯父の、生への執着が書き記されていた。その日を境に、久喜家の周辺で異常現象が起こり、雄司は超常現象に詳しい北斗総一郎を頼るが…。

▽じょかい (井上 宮：光文社)

幼い息子はマスクをつけて、テレビを見ている。キッチンで夕食の支度をしている妻に男は声をかける。「息子は風邪でもひいたのか」と。そしてふと気づく。自分たち夫婦に息子なんていただろうか…? 書き下ろしホラー。

◎ エッセイ

▽私は夕暮れ時に死ぬと決めている (下重 暁子：河出書房新社)

「自分の死を想像すれば、大切なものが見えてくる」「行動すれば運命は変わる」「ほんとうに自分の好きなものだけで暮らす」…。進むべき道を見失いがちな現代人に贈る、極上のエッセイ。

▽ふつうでない時をふつうに生きる (岸本 葉子：中央公論新社)

突然の外出制限、リモートワーク…慣れない環境にとまどう毎日。でも日常を見直し、自分のペースを発見するチャンスかも？ 変化に応じて、ぶれない心の持ち方を考えたエッセイ集。

▽並行宇宙(パラレル・ユニバース)でしか生きられないわたしたちのたのしい暮らし (渡辺 優：ホーム社)

注射が笑いのツボに入りすぎる、車の運転が驚くほどできない…。想像のななめ上をいく発想と自虐とユーモアが満載のエッセイ集。住野よるとの対談も収録。

▽遺言未滿、 (椎名 誠：集英社)

もう終点に近い気配だ。その時、何を見て、何を想い、どう果てるのか。齢 76。作家、ときどき写真家がカメラを抱えて迷い込んだ“エンディングノート”をめぐる 17 の旅。

▽男の業の物語 (石原 慎太郎：幻冬舎)

男が「男」である証とは。自己犠牲、執念、友情、責任、挫折、情熱…。文壇と政界の最前線に立ち、時代と格闘し続けてきた石原慎太郎が、鮮やかな男の生き様を綴る。

こどもの本

◎ 社会科

▽みんなはアイスをなめている (安田 夏菜：講談社)

小学6年生の陸の家は給食費も学童保育のお金も払えない。妹の美波は、テレビに映った飢えてやせこけた子どもを見て「うちは貧乏なんかじゃない!」というが…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

▽すし屋のすてきな春原さん (戸森 しるこ：講談社)

伝は女性の寿司職人・春原さんに出会った。クラスメイトの海江田美緒が、将来寿司職人になりたいという夢を否定されたとき、伝は声をあげることができなくて…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

▽十二支えほん (谷山 彩子：あすなる書房)

十二の動物が登場する「十二支」。でも、いったいどうして「十二」なのでしょう？ 十二支の由来や干支の意味が楽しく学べる入門絵本。生まれ年の干支の豆知識も満載。

◎ 生活

▽感染症ってなんだろう？ (岡田 晴恵：岩崎書店)

なぜ感染症は広まるのか？ 手洗い、食べもの、災害時。私たちが日頃気をつけたいことって？ マラリアから新型コロナウイルスまで、人類が戦ってきた感染症の歴史とこれから必要な対策を、図やイラストをふんだんに使い解説。

◎ 日本の作品

▽みけねえちゃんにいうてみな (村上 しいこ：理論社)

みけねこのみけねえちゃんは、友達の子猫ナンダロウが指名手配されていると聞き探りにいくことに。手配書には確かに友達の写真があるけれど、名前はまったく違い…。どうということ？ 友達の知らなかった秘密にせまる。

▽しかくいまち (戸森 しるこ：理論社)

その町には、しかくいひとが住んでいます。しかくいひとたちには口がなく、言葉をお話さず、うれしいとか、かなしいとか、そういう「気持ち」がほとんどないので

す。ある日、その町に1人の男の子が流れつき…。

▽ネムノキをきらないで (岩瀬 成子：文研出版)

おじいちゃんの家にあるネムノキを、大人たちはきり倒すといいだした。ぼくは反対したけれど、大きくなりすぎたからといって、枝はきり落とされた。ぼくは、大人たちにいいたいことをうまく言葉にできなくて…。

◎ 推理・ミステリー

▽めいたんていサムくんとあんごうマン (那須 正幹：童心社)

ある日サムくんに、「あたんにごうわをとたいこて…」という、なぞの言葉が書かれたふしぎな手紙が届いた。それは、あんごうマンからの挑戦状で…。「めいたんていサムくん」シリーズ第2弾。

◎ 伝記・ノンフィクションよみもの

▽渋沢栄一人物としごと (こどもくらぶ：岩崎書店)

近代日本をつくりあげた渋沢栄一。彼の偉大さは、その業績の多さだけではありません。生い立ち、人となり、関わった人たち、成しとげた仕事など、さまざまな角度から渋沢栄一を解説します。

◎ 日本の絵本

▽よんひやくまんさいのびわこさん (小沢 さかえ：理論社)

びわこさんは、大地の記憶にある、ちゃぼんちゃぼんと遊んでいた頃の海に帰りたい一心で、ハマヒルガオたちを連れ、移動を続ける。そして疲れて移動する気力がなくなった頃…。自然を愛するひとのための絵本。

▽怪物園 (junaida：福音館書店)

怪物園は怪物たちをのせて、長い旅を続けています。ある夜、怪物園から抜け出した怪物たちは、街の通りを行進し始めたのです。外で遊べなくなり、すっかり退屈した子どもたちは、空想の旅に出かけることに…。

▽だっこさんかいサンタクロース (よしむら めぐ：小学館)

今日はクリスマスイブ。アコが「サンタさん、ほんとうにきてくれるかな」と言うと、トラトラちゃんもクマちゃんも「ぼくたちのうち、知ってるかなあ」「迷子になっちゃったらどうしよう」と心配そうです。そこでアコは…。

▽ゆきだるまとかがみもち (岡本 よしろう：鈴木出版)

ガラス戸越しに目を合わせていた、庭にいるゆきだるまと、家の中にいるかがみもちは、いつか話をしたり遊んだりしたいと思っていました。そんなある日、ねこのミイがガラス戸を開けて、家の中に入って行って…。

▽うしとざん (高島 那生：小学館)

今日はこれからうしに登ります。前足の短い毛をつかんで、汗だくになって登ります。なぜ登るのかって？ そんなこときいちゃあいけません。ようやくたどり着いたうしの背中には、なにが待っているのでしょうか？

▽ながればし (武田 康男、小杉 みのり：岩崎書店)

流れ星は、高い空の、そのまたむこう、宇宙からやってきた、星のかけら。空をすべるみたいに、すーっと流れて、あっというまに消えていく…。流れ星の写真絵本。流れ星やさまざまな種類の星(天体)のかんたんな紹介も掲載。

◎ 外国の絵本

▽おともだちになってくれる？ (アニタ・ジェラーム：評論社)

ひとりで探検に出かけた小さな茶色いノウサギ。きりがおかにやってくると、ヒースの中から誰かがチビウサギを見つめています。それはチップスという名前のまっ白なウサギで…。「どんなにきみが好きだかあててごらん」の続編。

利用案内

開館時間

(12月1日～3月末まで)

▽ 午前10時～午後6時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

(4月1日～11月末まで)

▽ 午前9時～午後7時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

休館日

▽毎週 火曜日

▽毎月 第3日曜日

月末整理日(月末が火曜日等で休館の場合は、その前日を休館)

▽年末年始(12月28日～1月3日)

▽蔵書点検日(3月7日～13日)・年度末整理(3月31日)



里庄町立図書館キャラクター

里庄町キャラクター

ふくちゃん

&

里ちゃん

里庄町立図書館ニュース

No. 333 2021. 2. 1

岡山県漢口郡里庄町里見2621

電話 0865-64-6016